



書き初め展

一文字に心を込める

1月25日(木)～27日(土)

書き初めとは、年が明けて初めて書や絵を書くことで、一般的には1月2日に行われます。昔は、あらたまった気持ちで筆をとり、若水ですった硯で恵方に向かっておめでたい詩句を書いたと伝えられています。書き初めは、1年間の学問への取り組みを確認する上でも、必要不可欠でした。そして、書き上がった書き初めは、しばらく部屋などに掲げ、自分への戒めとして常に目を向けていたようです。そして1月15日のどんど焼きで火に投

じ、燃えて高く上がるほど字がうまくなると言い伝えられています。この話は全校朝会で校長先生から教えていただきました。

今年は、3～6年生は体育館で書き初めを行いました。琴の音色が流れ、新春の雰囲気を味わいながら、一文字一文字に心を込めて書きました。1、2年生も静かにそれぞれの教室で書き初めを行いました。

また、今年は作品の掲示を地域や保護者の方に助けていただきました。みんなで作り上げた書き初め展となり、嬉しく思っています。深く感謝申し上げます。

(国語部：高井 周子)

スピーチ大会

自分の思いを言葉で伝えよう

1月19日(金)



1月19日(金)に、低・中・高学年に分かれて、スピーチ大会をしました。今年度から、全校スピーチ大会という形ではなく、低・中・高学年に分かれたので、学年代表が4名になり、1年生から6年生までで、合計24名の児童がスピーチをしました。

低学年は、皆に聞きとりやすい声の大きさや速さ、話す順序を意識して、スピーチしました。1年生は「知らせたいな、見せたいな」、2年生は「あったらいいな、こんなもの」です。

中学年は、理由や事例などを挙げながら筋道を立てて聞き手に分かりやすい内容を話すことを意識して、スピーチしました。3年生

は、「伝えよう、楽しい学校生活」、4年生は「わたしの研究レポート」です。

高学年は、目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるような話の構成を工夫し、スピーチしました。5年生は「表やグラフから読み取ろう」、6年生は「未来がよりよくなるために」です。

どの学年も、堂々と自信をもってスピーチする姿が見られました。また、聞き手を見ながら語りかけるようにスピーチする姿も見られ、自分の思いを聞き手に届けようという気持ちがとても伝わってきました。

(スピーチ大会担当 町田 真由美)

ASEAN交流

異文化との出会いを通して

1月20日(土)

学校公開日



ASEAN交流は、東南アジア諸国の方々と交流を通して、異なる文化やその文化をもった人々を受け入れる態度を養うことを目的としています。そこで、毎年、日本アセアンセンターにご協力いただき、講師の方をお呼びしています。

今年は、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、ベトナムから各クラスに1名ずつお迎えし、自国の文化や生活の様子について話していただきました。子供たちは、資料や写真、動画を見ながら、興味深く話を聞いていました。民族衣装を着たり、ボール蹴りを体験したりしたクラスもあります。今年は、伝統的なスポー

ツや有名なオリンピック選手についての紹介もありました。東京オリンピック開催時に、子どもたちがASEANの選手をより身近に感じてくれると嬉しいです。

こうした異文化交流が、世界の国々に目をむけ、我が国の文化や伝統をみなおすきっかけにもなってくれることを願っています。

(国際理解担当：緒方 理子)



© Can Stock Photo

想いを形に

作品展

1月25日(木)～27日(土)

作品展には、多数のご参加をありがとうございました。

日頃のお子様の良さ、また一味違った良さを感じていただけたでしょうか。

学校では学級ごとに発表会を行い、互いの作品を丁寧に見合う学習を積み重ねています。今回は全校で鑑賞することにより、学年を超えて自分や友達の良いところを認め合うことのできる貴重な機会になりました。

想いを込め、楽しくつくった作品からは一人一人の個性や素晴らしさが伝わってきます。ご家庭でも良いところを伝えてあげてください。

(図工担当 田村 直美)

作品のご案内

平面作品：のってみたいな いきたいな
立体作品：はこがざるんるん(紙工作)

1年

平面作品：ふしぎな たまご

立体作品：ステキ!ケーキ!(紙粘土)

2年

平面作品：虫むしムシ

立体作品：ゆめのしろ(木工)

3年

平面作品：木々を見つめて

立体作品：くねくね(バックアップ材工作)

4年

平面作品：謎の宝島の地図

立体作品：一枚の板から(木工)

家庭科：ウォールポケット

5年

平面作品：影り込み版画

立体作品：陶芸

家庭科：生活に役立つ布製品

6年



全国学校給食週間

旬の食材を子供たちに

1月24日(水)～30日(火)



港区の学校給食では日本の伝統行事や学校行事に基づく行事食、日本各地に伝わる郷土料理、旬の食材を使用した季節感のある料理、地域性を生かした世界の料理などを献立に取り入れています。

1月24日から30日まで全国学校給食週間でした。御成門小学校では1月24日から26日までの3日間、昔の給食を再現したり、「東京都産」の食材を使ったメニューを出したりしました。

学校給食はなぜ始まったのか、昔はどんな給食が出ていたのか、今の給食と比べてみるとどんな違いがあるのか知ってもらいたいと

思います。

また、「東京都産」の食材を知ることで、東京都のいろいろな農産物や水産物を身近に感じてください。

家庭でも「東京都産」の食材を使った食事をしてみてはいかがでしょうか。

(副校長 三柴 祐子)

